

新町・古町地区では、歴史的建造物と一体となった公民連携のまちづくりを推進しており、その取組のひとつとして明八橋前～唐人町通りの道路空間の整備を予定しています。この「唐人町通りみちづくりニュース」では、道路整備事業の進捗や、ワークショップの様子などを地域の皆さんにご報告していきます。

第3回 唐人町通りみちづくりワークショップを開催しました！

第3回ワークショップの開催概要

4月に開催した第2回に続き、3回目の唐人町通りみちづくりワークショップを開催しました。今回は、前半部は講師を招いての「みちづくり勉強会」を行い、みちづくりへの理解を深めるとともに、後半部は「社会実験に向けた意見交換」をテーマとして、唐人町通りにふさわしいみちづくりについて意見交換を行いました。

日時：令和4年10月14日（金）19時～

場所：五福まちづくり交流センター

参加人数：13名



来年、社会実験を実施します！

今後、唐人町通りや通り沿いの土地を対象に、安全性や憩い・賑わい、回遊性に資する取組を実践・検証する予定です。詳しい時期や内容については、回覧板や熊本市HP等でお知らせしていきます。

熊本市のHPはこちら！



当日の流れ

1. 前回の振り返り

これまでの議論や意見等を踏まえ、事務局より「唐人町通りならではのライフスタイル像(案)」や将来イメージ案の提示と実現に向けた課題の確認を行いました。

2. みちづくり勉強会

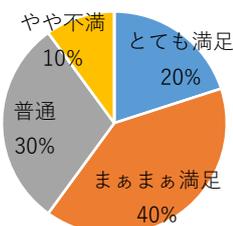
熊本大学の星野先生、吉城先生を講師にお招きし、景観や交通の視点などから、みちづくりに取り組む意義や考え方について理解を深めました。

3. 社会実験に向けた意見交換

みちづくりの課題への対応として、社会実験の実施及び検証すべき内容(案)について、事務局よりご説明し、意見交換を行いました。

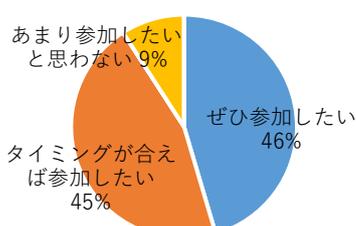
参加者の声 (参加者アンケートより一部ご紹介)

■みちづくり勉強会の満足度



- ・30km/hを目指す話や道のにぎわいを可視化する話が興味深かった。
- ・視覚に障害のある方に関する話が印象に残った。
- ・専門家のノウハウをみちづくりに活かしてほしい。

■社会実験への参加意欲



自由記述

- ・市民の方がまちづくりを真剣に考えていて驚いた。
- ・「人にやさしく」が最重要。
- ・地域の方のご意見など、普段聞くことのないお話が聞いて非常に有益なものだった。
- ・観光地化ではなく、本来の町の姿に近づいたものになるとよいと感じた。
- ・「まちと駅をつなぐ場所」として、社会実験をやることをサクラマチやアミュなどでもPRしたらよいと思う。



専門家によるみちづくり勉強会を行いました！

これまで地域のみなさんより頂いた、みちづくりの疑問点や不明点を踏まえ、道路の考え方や事例などについて、専門家の先生よりお話を伺いました。

●星野 裕司先生

(熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター准教授)

テーマ『景観から考える“みちづくり”』

●吉城 秀治先生

(熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター准教授)

テーマ『道路の空間デザインを利用した
交通安全対策の効果』



星野先生のお話

唐人町通りのみちづくりは「まち」という広い視点から、熊本駅と花畑広場をつなぐ、熊本らしい「まち」の形をつくる第一歩として考えていく。これからの唐人町通りで大切にすべきことに次の3つがある。

①「歩行者を大切に」（主役は歩行者であること）、②「地域の方々を中心に」（観光客だけではなくまずは古町や新町などの地域の方が日常的に利用する場所であること）、③「道と建物を一体的に」（道だけではなく、沿道も一体的に考えること）が大切である。これらに取り組むことで、唐人町通りらしい魅力ある「みち」になるのではないかな。

吉城先生のお話

歩行者が亡くなった交通事故の約半数が、その歩行者の自宅から500m圏内で起きている。また、車両の走行速度が時速30kmを超えると死亡率が急激に高まる。この走行速度について、みちや沿道の雰囲気等が影響するのではないかな、との仮説に基づく研究をしている。唐人町通りと環境が似ている出雲大社神門通りの事例では、中央線を消し、車道を狭め歩道を広げる実験を行った結果、車両の速度低下や歩行者の安心感が増す等の安全性が高まった。唐人町通りにおいてもみち・沿道の雰囲気を変えることや車道を狭めて歩道を広げることで、時速30kmを目指して、自動車の速度を低下させていくことが重要である。

唐人町通りのみちづくりや社会実験の実施に向けて、意見交換を行いました！

星野先生・吉城先生による勉強会や、事務局からの社会実験の内容（案）についての説明を踏まえ、意見交換を行いました。意見交換では、多様な人の視点に立った、安全で通行しやすいみちのあり方が主な論点となり、目標とする車両走行速度、歩道の段差、唐人町通りらしいみどり等について、多くのご意見が出されました。

意見交換の主な内容

【安全性について】

- ・歩車分離から歩車共存へ
- ・「人」を大切にする = 車の速度は時速30km（致死率が低い）を目標に！
- ・社会実験で多様な人と一緒に体験し、答えを出そう
- ・視覚障がい者の人にとっては、白杖で歩車道の段差を認識することが大切
- ・車椅子、視覚障がい者のどちらかではなく話し合いたい
- ・高齢者や自転車の安全性も踏まえ、どこで折り合いをつけるか
- ・この通りで成功し、周辺にも広がるようなモデルに！

【みどりについて】

- ・昔はこの通りにアオギリがあり、歴史性や木陰の観点を考慮してほしい
- ・落ち葉もあるので沿道の方と相談が必要
- ・育てることまで含め、みどりについて考える

【回遊性について】

- ・駅からなど自転車の人ももっと来訪しやすいように
- ・通行ルールなど、歩行者、自転車双方の安全面を考慮してほしい